# CIVIC TECH

## シビックテック コミュニティブック
### -みんなが主役！全国の活動団体紹介-

2017

# Contents


Code for Sapporo / 北海道札幌市 … 4
Code for Shiogama / 宮城県塩竈市 … 5
Code for Aizu / 福島県会津地域 … 6
Code for Ibaraki / 茨城県 … 7
Code for Matsudo / 千葉県松戸市 … 8
Code for Chiba / 千葉県千葉市 … 9
Code for Japan / 日本全域 …10
Code for Tokyo / 東京都 …11
Code for Shinagawa / 東京都品川区 …12
Code for Fuchu / 東京都府中市 …13
Code for Kanagawa / 神奈川県 …14
オープン川崎/Code for Kawasaki / 神奈川県川崎 …15
code for kohoku / 横浜市港北区 …16
Code for Numazu / 静岡県沼津市 …17
Code for Niigata / 新潟県新潟市 …18
Code for Toyama-City /富山県富山市 …19
Code for Takaoka / 富山県高岡市 …20
Code for Nanto / 富山県南砺市 …21
Code for Kanazawa / 石川県 …22
Code for Gifu / 岐阜県 …23
Code for Nagoya / 愛知県名古屋市 …24
Code for MIKAWA / 愛知県三河地方 …25
Code for Shiga/Biwako / 滋賀県 …26
Code for Amagasaki / 兵庫県尼崎市 …27
Code for Kobe / 兵庫県神戸市 …28
Code for Ikoma / 奈良県生駒市 …29
Code for YAMATOKORIYAMA/奈良県大和郡山市 …30
Code for Tokushima / 徳島県 …31
Code for DOGO / 道後平野中心に愛媛県圏域 …32
Code for Kitakyushu / 福岡県北九州市 …33

# は　じ　め　に

金沢市では、市民との協働のひとつの形として、市民（Civic）が ICT（Tech）を活用して、市民自らが地域課題の解決しようとする取組みである「シビックテック」の促進に努めています。

この度、全国各地でシビックテック活動されている団体にもご参加いただき、「Civic Tech Summit KANAZAWA2017」を開催するにあたり、活動されている団体からの情報提供をもとに、Code for Kanazawa と協力してこの冊子を作成することといたしました。

つきましては、団体間の連携や市民への活動紹介等、今後のシビックテック活動の更なる発展の一助としてご活用いただければ幸いです。

平成 29 年 11 月

金沢市情報政策課

CODE for GIFU
Create our lives by ourselves

CODE for NANTO

Code for Kanazawa

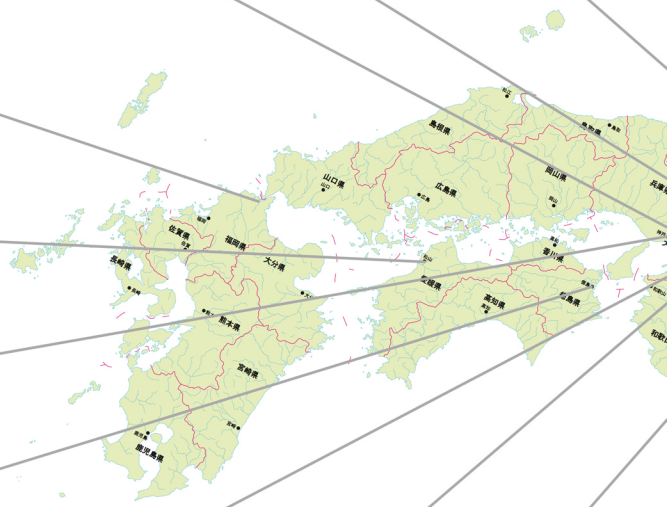
Code for Amagasaki

Code for Shiga/Biwako

Code for Kitakyushu

Code for DOGO

CODE for KOBE



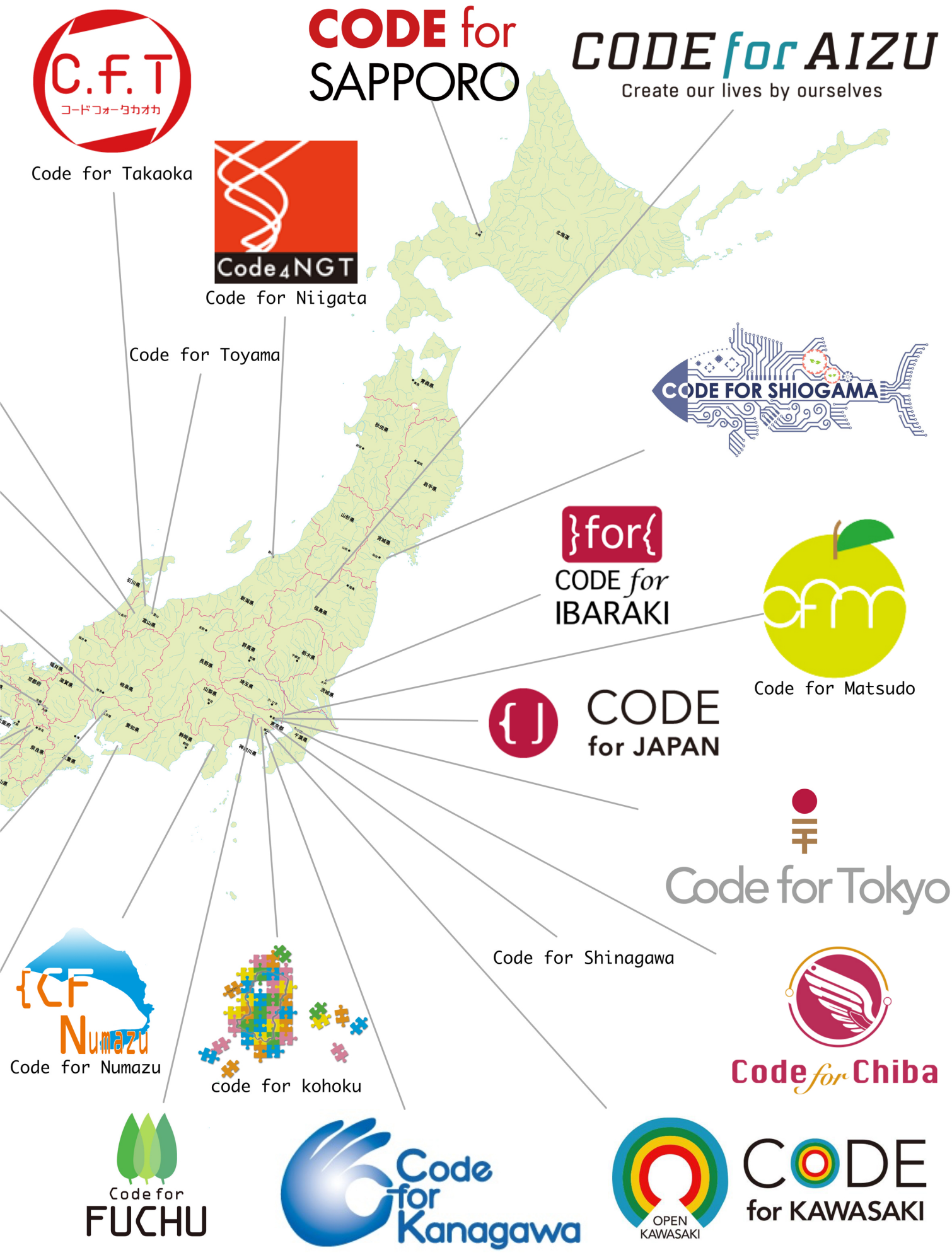
Code for Tokushima

CODE for IKOMA

CODE FOR YAMATO KORIYAMA

Code for Nagoya

CODE FOR MIKAWA


C.F.T
コードフォータカオカ
Code for Takaoka
CODE for SAPPORO
CODE for AIZU
Create our lives by ourselves
Code4NGT
Code for Niigata
Code for Toyama
CODE FOR SHIOGAMA
}for{
CODE for IBARAKI
Code for Matsudo
CODE for JAPAN
Code for Tokyo
Code for Shinagawa
{CF Numazu
Code for Numazu
code for kohoku
Code for Chiba
Code for FUCHU
Code for Kanagawa
OPEN KAWASAKI
CODE for KAWASAKI

# Code for Sapporo

URL: http://www.codeforsapporo.org/
FaceBook: https://www.facebook.com/groups/codeforsapporo

**【団体の概要】**
活動地域：札幌市を中心とした北海道道央地域 (北海道はでっかいどう…なので全域カバーはできません)
設立年月：2014年2月
団体代表：鈴木 祐亮
メンバー数：コアメンバー9名、その他イベント等に40名ほど参加(2017年11月現在)

**【活動方針】**
～「コード」で私たちの札幌をちょっと良くしたい。～ Code for Sapporo は、札幌という地域の課題を「コード」によって解決していこうとするコミュニティです。私たちのまわりには、コードの力を少し加えてあげることで解決に近づく課題があると考えています。あなたのまわりの「ちょっと困った」「こうなったらいいのに」は、まだコードと出会っていないかもしれません。

**【主な活動(頻度)】**
・RESASハッカソン参加
・Slackによるコアメンバー間のオフラインミーティング
・OpenStreetMapのマッピングパーティ、Wikipediaワークショップ活動など。

**【代表的なプロダクト等】**
・さっぽろ保育園マップ (http://papamama.codeforsapporo.org/)
・sapporo 5374.jp (http://sapporo.5374.jp/)
・LocalWiki Sapporo (https://ja.localwiki.org/sapporo/)

**【得意分野・スキル等】**
地理位置情報の可視化、オープンデータ、ハッカソン開催等

**【団体詳細】**

インターナショナルオープンデータデイのイベントをきっかけに集まったメンバーを中心に2014年2月設立。
2014年10月にオープンソースで公開した「さっぽろ保育園マップ」は、現在全国19都市の地域版が作成され広まっている。

2014年10月：任意団体として設立
2015年3月：アーバンデータチャレンジ2014（UDC2014）で「さっぽろ保育園マップ」金賞受賞

# Code for Shiogama

URL:
FaceBook: https://www.facebook.com/CodeForShiogama/

**【団体の概要】**
活動地域：宮城県塩竈市
設立年月：2014年2月
団体代表：小泉勝志郎
メンバー数：2

**【活動方針】**
・塩竈の楽しいを伝える
・ITにこだわらないけど、ITはどんどん使う

**【主な活動(頻度)】**
・離島ハッカソン「島ソン」(年に1回)
・塩竈まちあるき(月に1度。現在休止中)

**【代表的なプロダクト等】**
・渚の妖精ぎばさちゃん
・Island Girls(塩竈市浦戸諸島を舞台としたゲーム)

**【得意分野・スキル等】**
**・全ブリゲイド中唯一のアニメ雑誌で特集されたコンテンツである渚の妖精ぎばさちゃんを持つ！**
**・ハッカソン、まちあるき**

**【団体詳細】**
2014年2月に現代表の小泉勝志郎を中心に3名で設立。現在は2名で活動中。同年5月に離島である浦戸諸島でのハッカソン「島ソン」を開催。島ソンは「島の課題をITで解決する」というテーマで行った。島ソンの中で「海藻アカモクのプロモーション」のために作ったキャラクター「渚の妖精ぎばさちゃん」はブリゲイドの枠を超え、アニメ雑誌にも特集される人気キャラへ。塩竈の海藻アカモクも、たびたびテレビで取り上げられる人気商品となった。

現在、ブリゲイドとしての活動が控えめになっているが、また大型イベントへ向けて準備中。

# Code for AIZU

URL:http://aizu.io
FaceBook: https://www.facebook.com/codeforaizu/

**【団体の概要】**
活動地域：福島県会津地域
設立年月：2013年9月
団体代表：代表者なし
メンバー数：計測不可能

**【活動方針】**
CODE for AIZUは特定の組織や団体ではなく、賛同・協力する人それぞれが自分の立場やスキルでもって地域をよくしていくためのコミュニティであり草の根的な活動です。団体ではなく概念と言っても過言ではありません。

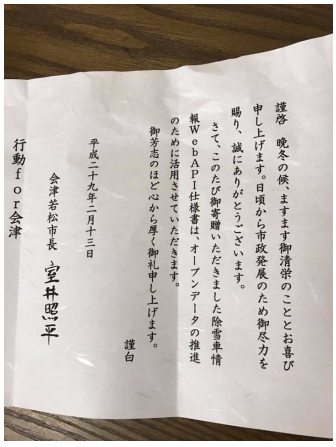
**【主な活動(頻度)】**
・オープンカフェ会津（月に１回）
・Coder Dojo、もくもく電子工作他（不定期）

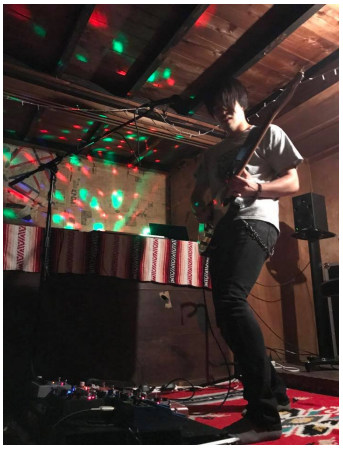
**【代表的なプロダクト等】**
・野口英世青春館動画再生装置
・三島町除雪車位置情報システム
・地域スーパー向けデータ解析アプリケーション
・ウォーキングカフェ会津

**【得意分野・スキル等】**
**各々で様々なスキル＆活動がある**

**【団体詳細】**

地域のIT企業・団体・行政の有志や学生などが中心となって、地域の抱える様々な課題を解決する方法を考え、アプリケーションやサービスとして開発・提供します。


謹啓　晩冬の候、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。日頃から市政発展のため御尽力を賜り、誠にありがとうございます。
さて、このたび御寄贈いただきました除雪車情報ＷｅｂＡＰＩ仕様書は、オープンデータの推進のために活用させていただきます。
御芳志のほど心から厚く御礼申し上げます。
謹白
平成二十九年二月十三日
会津若松市長　室井照平
行動ｆｏｒ会津



オープンカフェ会津
テーマ「教育」
CODE for AIZU

# Code for Ibaraki

URL: https://codeforibaraki.org/
FaceBook: https://www.facebook.com/groups/codeforibaraki/

**【団体の概要】**
活動地域：水戸市を中心とした茨城県全域
設立年月：2013年12月
団体代表：佐藤俊秀
メンバー数：FBグループメンバー数129名、コアチーム8名(2017年10月現在)

**【活動方針】**
・既存のコミュニティ同士を繋ぐゆる～いネットワーク網をつくる。
・自治体オープンデータの推進。
・シビックテックの推進。

**【主な活動(頻度)】**
・CoderDojo Mito運営（月1回）
・コワーキングスペース水戸Wagtail(非公認)もくもく会（月1回）
・シビックテックカフェ（月1回）
・いばらきコンテンツ・ソフトウェア大賞ハッカソンの運営サポート
・アーバンデータチャレンジ、チャレンジ・オープンガバナンスなどへの参加

**【代表的なプロダクト等】**
・WikipediaTown水戸
・5374　茨城町版、水戸市内原版

**【得意分野・スキル等】**
井戸端会議、プログラミングクラブ（CoderDojo）、ハッカソン、コミュニティ運営

**【団体詳細】**
2013年12月に設立。
2014年2月　茨城町版5374.jpの公開２０１３年
3月　5374（ゴミナシ）アプリの作り方（Code for Japanワークショップへ協力）
9月　茨城県デジタルコンテンツ大賞アイデアソン・ハッカソン協力
10月11月　第1、2回みとオープンデータイベント～まちを元気にするデータをつくろう～開催協力
2015年1月　アーバンデータチャレンジへの参加
2月　オープンデータ推進フォーラム、インターナショナル・オープンデータ・デイ2015 in 茨城
4月　オープンデータカフェ@水戸・キックオフ
7月8月　茨城県デジタルコンテンツ大賞アイデアソン・ハッカソン協力

2014年2月　データ部門　銀賞／水戸市長特別賞

# Code for Matsudo

URL:https://code4matsudo.org
FaceBook:https://www.facebook.com/code4matsudo/

**【団体の概要】**
活動地域：千葉県松戸市
設立年月：2016年7月
団体代表：吉田健一
メンバー数：正会員10名(サポーター60名) 2017年10月現在

**【活動方針】**
ビジョン: 松戸をより住みやすくより人が集まる地域にする
ミッション: ITを活用することで地域の課題を解決する

**【主な活動(頻度)】**
・運営ミーティング(毎月1回)
・ITカフェ(不定期)、地域住民とのオープンな課題解決会議
・松戸市国際観光課とのミーティング(不定期)
・CoderDojo運営サポート(不定期)

**【代表的なプロダクト等】**
・お祭りWebサイトツールキット
(https://codeformatsudo.github.io/omatsuri_project_demo/)
・松戸まもる君
(https://matsumamo.com/)

**【得意分野・スキル等】**
地域活性化支援事業、メディア・サービス事業、教育・支援事業

**【団体詳細】**
2015年10月23日にCfMとして活動を開始。
日本の道百選にも選ばれる松戸市常盤平さくら祭りを紹介するサイト作成をきっかけに、松戸市のお祭りやイベント情報を自治体と協力し提供している。
不定期で行なっている地域住民とのITカフェやアイディアソンから、地域防犯情報サイトをリリース。

2015年10月　Code for Matsudo を設立。
2016年4月　常盤平さくら祭りに情報サイトをリリース。
2016年5月　CfJへ正式お披露目会を実施。
2016年10月　近隣の小学校おやじの会と防犯街歩きマッピングパーティを実施。
2017年2月　松戸市役所職員を交えて行政のOpen Dataを活用したアイディアソンを開催。IODD2017ではハッカソンにてアイディアを実現化。
2017年6月　防犯情報サイト松戸まもる君をリリース。お祭りWebサイトツールキットをリリース。
2017年8月　松戸花火大会2017サイトを提供。

# NPO法人 Code for Chiba

URL:http://www.code4chiba.org/
FaceBook:https://www.facebook.com/codeforchiba/

**【団体の概要】**
活動地域：千葉県千葉市と近隣地域
設立年月：2017年4月(活動開始2015年1月)
団体代表：浦本和則
メンバー数：正会員16名(サポーター150名)2017年10月現在

**【活動方針】**
テクノロジーを活用し、街の課題を解決する。
市民のリテラシーを高め、テクノロジーの恩恵を全市民に。

**【主な活動(頻度)】**
・もくもく会(毎月1回)
・運営ミーティング(毎月1回)
・ワークショップ/勉強会(1、2ヶ月/回)
・プロダクト開発(随時)
・アーバンデータチャレンジ(年5回)
・千葉市役所との定例ミーティング(毎月1回)

**【代表的なプロダクト等】**
・お祭りデータセンター(http://festival.code4chiba.org/)
・ちば保育園マップ(http://papamama.code4chiba.org/)

**【得意分野・スキル等】**
地域ICT活用支援事業、メディア・サービス事業、教育・支援事業、ハッカソン

**【団体詳細】**
2015年1月31日にCfCとして活動を開始。千葉市職員の方々と協力してお祭りデータセンターを開発。同年秋、Mushup AwardsでCIVICTECH部門賞、CIVICTECH for Citizen賞を受賞。千葉市のお祭りを随時取り込める機能を備えデータの拡充を行なっている。また、ちば保育園マップを2016年夏に初版リリース。千葉市との綿密な打合せを繰り返し2017年秋より、鮮度が高く詳細な情報を毎月提供できるまで進化している。

2017年4月　特定非営利活動法人Code for Chibaを設立
2017年7月　アーバンデータチャレンジ2017千葉ブロックキックオフ会を開催
2017年8月　Open Day(CivicTechって何だろう、Coder forって何だろう)
Coder forの活動を地域の人に知ってもらうワークショップを開催
2017年9月　Civic Power Battle(自分の都市のプロモーションを行い、他の都市と戦うイベント)に参加
2017年10月　GovHack千葉市(Lineを活用したハッカソン)を開催

# Code for Japan

URL:http://www.code4japan.org/
Facebook: https://www.facebook.com/codeforjapan

**【団体の概要】**
活動地域：日本全域
設立年月：2013年6月(2013年10月に一般法人化)
団体代表：関 治之
メンバー数：理事 4名、事務局長 1名、社員約15名(2017年11月1日現在)

**【活動方針】**
（ビジョン）すべての人たちが自らが所属する社会に誇りを持ち、率先して環境を改善する文化をもつ社会を目指すこと。

**【主な活動(頻度)】**
・コーポレート・フェローシップ(年2回)
・長期コーポレート・フェローシップ(年1回・福島県浪江町、兵庫県神戸市)
・Code for Japanサミット（年1回、秋）＊団体詳細の写真：2017年開催@神戸
・ブリゲード・ミートアップ（年3〜4回）
・Civic Tech Fun! Fun! Report (月1回)
・シビックテック・ライブ（月1回。最近はお休み中）
・その他プロジェクト毎に不定期

**【代表的なプロダクト等】**
・Code for 選挙　( http://election.code4japan.org/ )
・Code for Japan Summit (https://summit2017.code4japan.org/ )

**【得意分野・スキル等】**
グローバルネットワーク、コンサルティング、プロダクト開発、ワークショップ、コミュニティ運営

**【団体詳細】**
Code for America の理念に賛同した関（現代表）がCfJを立ち上げる。

自治体へ企業のIT人材を派遣する「コーポレート・フェローシップ」を実施、派遣先のブリゲードのサポートを得て2017年度下半期は13地域にて展開。また、2017年度からは自治体のオープンデータを推進するために、行政職員向けのデータの扱い方や活かし方のマニュアル作成・研修を行う「データアカデミー」を実施（総務省委託）。
市民、行政、企業など多様な参加者が主体的に創りあげる国内最大のシビックテックイベント「Code for Japan Summit」を年1回開催。2016年は横浜市、金沢区共催：Cf YOKOHAMA）、2017年は神戸市（共催：Cf Kobe）。

# Code For Tokyo

URL:http://codefor.tokyo/
FaceBook: https://www.facebook.com/groups/codefortokyo/

**【団体の概要】**
活動地域：東京都全域
設立年月：2014年9月
団体代表：矢崎裕一
メンバー数：295名（Facebookグループ人数）

**【活動方針】**
「みんなでつくるTokyo」

**【主な活動(頻度)】**
・シビックハックナイト(隔月１回)

**【代表的なプロダクト等】**
・RESASの教科書 共同執筆（https://eb.store.nikkei.com/asp/ShowItemDetailStart.do?itemId=D2-00254300B0）
・Tokyo保育園マップ β版（ http://hoikuenmap.codefor.tokyo/ ）
・国立国会図書館WARP利活用（ハッカソンイベント企画と運営、委嘱研究などで連携）
・品川区と協働事業（オープンデータ利活用アイデアソン＆ハッカソン開催）
・東京都主催オープンデータアイデアソンキャラバン 全拠点ファシリテーション協力（ http://opendata-portal.metro.tokyo.jp/caravan2017.html ）
・#ふるさと納コード（Code For Sagaと共同提案）

**【得意分野・スキル等】**
・地域課題をデータやデータ可視化、アプリから考えるワークショップ、ハッカソン

**【団体詳細】**
・2014年9月　Code For Japanの活動に関わっていた任意のメンバーで設立。
・活動1年目は自主開催のアイデアソン、ハンズオンセミナー、イベント登壇が多かった。
・2016年には、内閣府が運用しているWebサービス「RESAS」の教科書本の共同執筆、国立国会図書館初のデータ可視化イベントの企画・運営など、中央省庁系の組織に関わる案件が少しづつでてきた。また単発で自治体主催の勉強会などへ講師役として呼んでいただくことが増えてきた。
・2017年には、品川区との通年での協働事業、東京都主催のオープンデータイベントを、それぞれエイチタス原 亮氏、グロコム庄司 昌彦氏と連携して実施や運営協力している。

# Code for Shinagawa

URL: http://code4shinagawa.org/
FaceBook: 準備中

**【団体の概要】**
活動地域：東京都品川区
設立年月：2016年4月
団体代表：村瀬 真琴（キノコ）
メンバー数：3名(2017年11月現在)

**【活動方針】**
大都市こそ、どローカルに！

１．地元の課題と出会うための関係づくり
２．品川区を知るための街歩きや飲み会、イベント参加
３．ITだけでできる課題探し＆解決探し
４．地域の人々がITに馴染む活動を起こす

これらの積み重ねから、だれとどんな課題に立ち向かうのかが見えてくる
まずは地道にコツコツと。そこから、一気に進むタイミングを見計らう

**【主な活動(頻度)】**
・不定期

**【代表的なプロダクト等】**
・なし

**【得意分野・スキル等】**
アイデアソン・ハッカソン設計と運営、地域密着、繋がり

**【団体詳細】**
2016年4月6日にメンバー3名で設立。

具体的な活動・成果はありませんが、Code for Shinagawaはじわじわやります。
仲間もゆるやかに増やしたいので、まずは飲み会からじわじわと。
また、特定の領域やジャンルに制限されないフラットな形を維持したいと思います。

# Code for Fuchu

URL:http://code4fuchu.org/
FaceBook: https://www.facebook.com/Codeforfuchu/

**【団体の概要】**
活動地域：東京都府中市
設立年月：2016年12月
団体代表：小林ヒロカズ
メンバー数：287名（Facebookページフォロワー数:2017年10月18日現在）

**【活動方針】**
共創・協働・ＩＴの力で地域の未来を創造。地域課題の解決は、地域の人や事情を良く知ることから。人がつながり、知恵がつながり、ともに考え、ともにつくるCode for Fuchu。

**【主な活動(頻度)】**
・井戸端会議（月1回）
・インターナショナル・オープンデータ・デイ（年1回）
・マッピングパーティ（不定期）
・IchigoJamで電子工作とプログラミング体験（年6回以上）
・アイディアソン、LightningTalk（井戸端会議にて）

**【代表的なプロダクト等】**
・なし

**【得意分野・スキル等】**
市民協働、共創、ワークショップ

**【団体詳細】**
2016年12月にキックオフ。コアメンバーは４名。

毎月第１月曜日の晩に開催する井戸端会議は、毎回20名~30名の市民が集い、ライトニングトークやアイディアソン、ワークショップで府中の未来を創造しています。Code for Fuchuでつながった人たちが市民活動プロジェクトを立ち上げる例が複数あります。

2016年12月　キックオフ
2017年　2月　インターナショナル・オープンデータ・デイ　ワークショップ開催
　　子ども向け「IchigoJamで電子工作とプログラミング体験」開始
2017年　4月　井戸端会議開始（毎月開催中）
2017年　6月　マッピングパーティ「府中のまちあるき」開催
2017年　7月　府中市市民活動センター”プラッツ”　開館記念イベントにて
　　「オープンデータで府中を見てみよう」講演
2017年12月　府中市役所より市民活動・協働の職員研修を受入れ

# Code for Kanagawa

URL:
https://www.facebook.com/CodeForKanagawa/

**【団体の概要】**
活動地域：神奈川、横浜
設立年月：2014年6月
団体代表：古川和年
メンバー数：コアメンバー12名、(FBグループ所属 233名)

**【活動方針】**
(1)地域課題解決と価値創造
(2)行政と企業と連携した産業活性
(3)次世代のITエンジニア育成

**【主な活動(頻度)】**
・Civic Hack Night(毎月第3金曜日)
・個別プロジェクト(期間 3ヶ月～半年程度)
・Wikipedia街道 大山道 (隔月)
・みなとみらいウォーキング(不定期、年4,5回程度)
・自治体主催講演会での登壇(不定期)

**【代表的なプロダクト等】**
・箱根避難所可視化
・旧東海道Hackathon
・ebina.5374.jp
・動物殺処分対策一般市民への配布資料

**【得意分野・スキル等】**
調査、コンサル、Webサイト情報発信、講演、地域交流イベント運営等

**【団体詳細】**
2014年に有志で立ち上げ少しずつ少しずつ活動を積み重ねています。誰でも参加できるコミュニティです。

2014年4月 Code for Kanagawa設立
2014年6月 横浜オープンデータフォーラム 登壇
2014年6月 5374 海老名市
2014年9月 子どもの安全アイデアソン 海老名
2014年10-12月 旧東海道ハッカソン
2015年2月 横浜IODD2015
2015年3月 厚木市オープンデータ活用セミナー
2015年5月 箱根避難所マップリリース
2015年6月 オープンデータ自治体サミット 登壇
2016年2月 横浜インターナショナルオープンデータディ参加
2016年3月 厚木市 オープンデータとビジネス講演
2016年9月-2017年1月 UDC山梨
2016年10月 鎌倉市、NEC紹介、コーポレートフェローシップ開始
2017年8月 動物殺処分対策プロジェクト開始

# オープン川崎/Code for Kawasaki

URL:http://openkawasaki.org/
Facebook:https://www.facebook.com/openkawasaki/

**【団体の概要】**
活動地域：神奈川県川崎市と神奈川県全域
設立年月：2014年1月
団体代表：小俣 博司
メンバー数：Facebookグループ(137名 )2017年11月現在

**【活動方針】**
川崎を活性化することを目的とした市民参加型のコミュニティです

- 川崎ならではのコミュニティつくり
- 次世代の人材育成
- 地域を面白くする
- 地域課題解決と新たな事業創造を行う

Code for Kasawakiはオープン川崎の分科会です

**【主な活動(頻度)】**
・オープン川崎自習室(もくもく会) (毎月1回)
・ウィキペディア街道 (隔月)
・インターナショナル・オープン・データ・デイ(IODD ) (年1回)
・シンジョーまちなカレッジ (随時)
・アーバンデータチャレンジ神奈川拠点 (UDC) (通年)
・Edit your City (OSMマッピングパーティ/LocalWiki/WikipediaTown) (随時)
・川崎市 街おこし協力隊 IT分科会 (随時)

**【代表的なプロダクト等】**
・かわさき5374.jp(http://kawasaki.5374.jp/)
・かわさき保育園マップ(http://openkawasaki.org/papamama/)
・シンジョーまちなカレッジ (http://shinjo.machina-college.org/)

**【得意分野・スキル等】**
オープンデータ利活用推進活動、地理空間情報の利活用、まちづくり支援、教育支援

**【団体詳細】**
オープンデータ推進活動と川崎市を活性化することを目的として平成26年(2014年) に設立。
平成29年(2017年) から横浜市港北区のCode for Kohokuと一緒にUDC神奈川拠点として神奈川全域に活動を始める。

2014年1月　オープン川崎の設立
2014年3月　IODD2014川崎を開催
2014年4月　分科会のCode for Kawasakiを設置
2017年3月　チャレンジ！！オープンガバナンス 2016に参加
2017年4月　シンジョーまちなカレッジ設立に参加
2017年9月　Civic Power Battleに参加
　　川崎市と連携してシティプロモーションを実施
2017年11月　アーバンデータチャレンジ神奈川拠点イベント開催

# code for kohoku

URL:
FaceBook:
https://www.facebook.com/groups/kohoku.okp.since.2016/

**【団体の概要】**
活動地域： 横浜市港北区
設立年月：2016年11月
団体代表：畑中祐美子
メンバー数：約20名

**【活動方針】**
それなら手伝えるかも！を呼び起こし、ともに考え、ともにつくろう

**【主な活動(頻度)】**
・非IT向けIT勉強会　年2〜3回
・もくもく会　2017年9月から第3木曜夜　月1回、
平日昼間のもくもく会2017年12月〜月1回

**【代表的なプロダクト等】**
・港北区保育園幼稚園マップhttps://codeforkohoku.github.io/papamama/
・
・

**【得意分野・スキル等】**子育て支援NPOスタッフが中心に立ち上げ。保育コーディネートは得意でもITスキルはほぼない中心メンバーを、現役エンジニアがサポート！

**【団体詳細】**2015年夏頃から横浜市港北区で子育て支援活動のNPOである、NPO法人びーのびーののスタッフが、子育て支援情報発信のメルマガをアプリ化したいという野望のもと、civictechのイベントに参加するようになった。気付くと、びーのびーのの運営する子育て支援施設の利用者や関連する活動に関わる人たちには、多様なスキル、専門職の人たちがいた。
アプリ作りたい！→自分達では無理→誰か助けて！→それなら手伝えるかも！自分もできるよ→もっと手伝える人知ってる→呼んでくる→やってきた！→自分も一緒に勉強したいから行く。
というように、非ITの人が気軽に参加できる場で、地域の多様な人の力を集めて自分達の課題を見つめながらみんなで活動を進めたいと思っています。

# Code for Numazu

URL:http://www.code4numazu.org/
FaceBook: https://www.facebook.com/CodeforNumazu/

**【団体の概要】**
活動地域：静岡県＋案件ごとに必要なエリア
設立年月：2015/11
団体代表：市川博之
メンバー数：183名（Facebookメンバー数）、定例では毎回10名から20名程度

**【活動方針】**
・ITを梃子に地域住民の課題を解決し、より良い社会を目指します
・自治体・市民がやりたいと思った時に、隣にいるパートナー
**【主な活動(頻度)】**
・月一回の定例
・WikipediaTown/マッピングパーティ/子供向けプログラム勉強会
・自治体さん向けの研修や、オープンデータ公開に向けた取り組み
**【代表的なプロダクト等】**
・てくぬま　https://kankou-redesign.jp/pov/5473/
・みしまセピアキャット　https://sepiacat.herokuapp.com/about
**【得意分野・スキル等】**
・フットワークの軽さ、自治体・市民団体と共に活動する、イベント運営

**【団体詳細】**
当初は、沼津中心に活動を行う予定であったが、地域と生活圏を考えた時に、静岡という単位で見なければ住民感覚とずれるため、今は静岡県＋αで活動している。県下、20以上の自治体とオープンデータやオープンガバナンスの話をしながら市民と一緒にやれることは何かを考えることと、福祉団体、地域の歴史団体、シルバーICTボランティア、商店街、自治会、地元企業など地域に密着した方々との対話の中から我々も共感しできること、それを一つ一つ続けている。

重点テーマは４つ、そして、貢献市民との繋がりを通じ地域に価値を出す。
ICTの利活用に関わらず、課題の本質に対してよい方法を探る、それが
Code for Numazuが地域へとコミットできることです。

【オープンガバナンスの推進】

・公民連携こそ、地域に新たな価値を見出す源泉。一歩ずつ互いに前に進み手を取り合うだけでいい。
・COGの支援
・自治体さんのODの支援

【生活しているエリアで考える】

・広域で持った方が良いデータを学ぶワークショップ
・地域全体でのオープンデータディ
・シェアリングエコノミーの研修

【シビックプライドの向上】

・デジタルアーカイブ
・地域の課題解決の支援
（アイデアソン、ハッカソン）
・静岡県の活動を他のエリアに広める

【シビックハッカーの育成】

・子供向けプログラミング教室
・グラレコ講座
・静岡県工業技術センター等
地域企業へのICT研修

# Code for Niigata

URL: http://www.codeforniigata.org/
FaceBook: https://www.facebook.com/code4niigata/
twitter:https://twitter.com/code4niigata

**【団体の概要】**
活動地域：新潟市を中心として新潟県全域
設立年月：2015年4月
団体代表：山田 道也
メンバー数：FBで136名、定例参加者は平均15名程度(2017年10月現在)

**【活動方針】**
～コードを紡いで、地域を繋ぐ～
市民・民間企業・行政が真の意味で協働する場を作る。

**【主な活動(頻度)】**
・コアメンバーMtg（毎月第2水曜日）
・他のコミュニティ・企業などとの合同勉強会（随時）
・プロダクト開発（随時）
・イベント参加（行政イベントや技術系カンファレンスなど・随時）

**【代表的なプロダクト等】**
・pics(https://github.com/CodeForNiigata/pics)
・相関を見る(https://github.com/CodeForNiigata/soukan-wo-miru 、チャレンジオープンガバナンス2016連携体制賞受賞プロダクト)

**【得意分野・スキル等】**
イベント運営、トマソン、マッピングパーティー、継続力、発想力

**【団体詳細】**
2015年4月12日設立。以来、独自路線で活動を続ける。
新潟をもっと楽しく、もっと住みやすい街にするために、ICTを活用してアプリケーションを作ったりウェブサービスを提供したりすること、アプリ作りを通じて新たなコミュニティを作ること、つまり「地域を繋ぐこと」が私たちの大きな目的。

Web開発者の比率が少ないため、ふるさと納コード募集中。

2015年3月　新潟市企業立地課主催の「がたまる アイデアソン&ハッカソン」に参加したメンバーを中心にCode for Niigataの準備会を立ち上げ
2015年4月　任意団体として設立
2015年11月　第２回「がたまるアイデアソン&ハッカソン」共催
　　トマソンマッピングパーティーを実施
2017年3月　チャレンジ！！オープンガバナンス２０１６　連携体制賞 受賞

# Code for Toyama City

URL: https://codefortoyama.jimdo.com
FaceBook: https://www.facebook.com/codefortoyama/

**【団体の概要】**
活動地域：富山県富山市およびその周辺地域
設立年月：2015年2月20日
団体代表：山本 雄一
メンバー数：58名(2017年11月現在)

**【活動方針】**
Code(IT機器操作する手段)を用いて、市民活動を支援または協働し、地域の暮らしの質を向上することを目指す。

**【主な活動(頻度)】**
・シビックテックナイト(毎月１回)
・とやまシビックテックパーティー(年1回, 県内Code for連携事業)
・アーバンデータチャレンジ(年1～2回)
・インターナショナルオープンデータデイ(年1回)　他 年数回のイベントを実施

**【代表的なプロダクト等】**
・5374.jp (http://toyama.5374.jp)
・Localwiki(https://ja.localwiki.org/toyama/)

**【得意分野・スキル等】**
ウィキペディアタウン, マッピングパーティー, ハッカソン, コミュニティ運営

**【団体詳細】**
2015年2月20日 メンバー8名で設立した任意団体。
2015年より,富山県高度情報通信ネットワーク社会推進協議会のプロジェクト事業として, 県内Code for 4団体共催により「とやまシビックテックパーティー」を開催し, 県内Code forの連携活動に取り組んでいます。
2016年度より, 富山県とオープンデータについて, 定期的に情報交換する等, 行政との連携に力を入れています。

# Code for Takaoka

URL: http://code4takaoka.org/
FaceBook: https://www.facebook.com/code4takaoka/

**【団体の概要】**
活動地域：　富山県高岡市やその周辺地域
設立年月：　2014年11月
団体代表：　矢後智子、中山司郎、太田 由美
メンバー数：　１８名（2017年10月現在）

**【活動方針】**
私達は「Challenge(挑戦)」「Collaboration(協力)」「Change(改善)」「Community(地域)」の「4つのC」を心に留め、ＩＴの力で高岡と周辺地域の課題解決を目指します。

**【主な活動(頻度)】**
・メンバーミーティング（月1回）
・アーバンデータチャレンジ（年1回）、オープンデータディ（年1回）
・シビックテックパーティ（年1回、富山県コードフォー合同イベント）

**【代表的なプロダクト等】**
・シン・タカオカ・ランド（高岡駅・新高岡駅　仮想テーマパークバス時刻付）
https://www.code4takaoka.org/shin-taka/
・万葉歌碑マップ　http://www.code4takaoka.org/manyo/
・教えっちゃ高岡　高岡市通学路危険個所マップ版
https://www.code4takaoka.org/event/dengermap/index.php

**【得意分野・スキル等】**
マップ作成

**【団体詳細】**
2014年11月、高岡市のITサポートコミュニティ「NPO法人ネットワークアシストたかおか」の下部組織として設立。
富山県や高岡市、IT関係者、大学生等の協力を得て、公共交通をはじめ様々な地域課題の解決にむけた活動を行っている。

# Code for Nanto

URL: http://www.code4nanto.org/
FaceBook: https://www.facebook.com/CodeforNanto/

**【団体の概要】**
活動地域：富山県南砺市
設立年月：2014年4月
団体代表：松本 八治
メンバー数：10名(2017年10月現在)

**【活動方針】**
シビックテック・オープンデータの普及・啓蒙のアプローチから「誰つくったか知らんけど、これ便利やわ!」という声が山・里・街から聞こえる活動を目指す。

**【主な活動(頻度)】**
・シビックテック関連のミートアップイベントの開催（年2，3回）
・アーバンデータチャレンジの開催（年1回）
・とやまシビックテックパーティーの開催（年1回）
・Code for Japan コーポレートフェローシップの受け入れ支援（年1回）

**【代表的なプロダクト等】**
・WHERE DOES MY MONEY GO?～税金はどこに行った？～南砺市版
・南砺バスガイド～あと5分～Powered by Just wait 5 minutes
・まったりセンサー～その場の雰囲気を可視化するセンサーアプリケーション～
・南砺市公共施設MAP　等

**【得意分野・スキル等】**
アイデアソン、南砺市との連携、コミュニティ運営、フード

**【団体詳細】**
富山県南砺市で活動する富山県内で最も早く立ち上がったCode for コミュニティ。
平成27年度には南砺市の市民協働のまちづくりモデル事業に採択され、ITを活用した市民協働での課題解決、市内の団体や県内のCode for コミュニティと連携した取り組むを行っている。

2014年04月　Code for Nantoが設立
2014年09月　世界遺産・五箇山で公共交通ハッカソンを開催
2014年10月　Mashup Award 10 Civic Tech 部門賞 ファイナル進出
「南砺バスガイド～あと5分～Powered by Just wait 5 minutes」
2015年11月　Mashup Award 11 Civic Tech 部門賞 ファイナル進出
「まったりセンサー～その場の雰囲気を可視化するセンサーアプリケーション～」
2016年11月　Code for Japan コーポレートフェローシップの2016年下期の支援
2017年02月　アーバンデータチャレンジ2016 アクティビティ部門 銀賞
「My City Forecastを活用したシミュレーションワークショップ」
2017年11月　Code for Japan コーポレートフェローシップの2017年下期の支援

# Code for Kanazawa

URL: http://codeforkanazawa.org/
FaceBook: https://www.facebook.com/CodeForKanazawa/

**【団体の概要】**
活動地域：金沢市を中心とした石川県全域
設立年月：2013年5月
団体代表：福島健一郎
メンバー数：95名(2017年10月現在)

**【活動方針】**
市民自らがITとデザインによる地域の問題解決を行うことで、自分たちにとってよりよい地域を作ることを目的とする。

**【主な活動(頻度)】**
・シビックハックナイト(毎月１回)
・アーバンデータチャレンジ（年５回）　その他プロジェクト毎に不定期

**【代表的なプロダクト等】**
・5374.jp (http://5374.jp)
・のとノットアローン(http://noto.not-alone.jp/)
・Ha4go (https://ha4go.net/)

**【得意分野・スキル等】**
ハッカソン、プロダクト開発、リクルーティング、コミュニティ運営

**【団体詳細】**
2013年5月7日にメンバー9名で設立。
同年9月に自分の地区のゴミ収集日が一目で分かるアプリ5374.jpを開発し、無料でリリース。
オープンソースとして公開した5374は現在、国産初のシビックテックアプリとして全国117以上の都市に利用されるまで広がっている。

2014年2月　一般社団法人として設立
2014年3月　オープンデータ流通推進コンソーシアム
　　2013年度優秀賞＆OKFJ賞「5374.jp」
2015年2月　アーバンデータチャレンジ2015 ソリューション賞
2015年3月　経産省オープンデータビジネスコンペティション 最優秀賞
2016年12月 のとノットアローン MashupAwards2016 CivicWave賞
2017年2月　石川ブロック アーバンデータチャレンジ2016 ベスト地域拠点賞
　のとノットアローン アーバンデータチャレンジ2016 アクティビティ部門金賞

# CODE for GIFU

URL:https://www.facebook.com/CODE-for-GIFU-592157627504886

**【団体の概要】**
活動地域：岐阜県全域
設立年月：2013年11月
団体代表：國枝 裕介
メンバー数：30名(2017年10月現在)

**【活動方針】**
唯一決められたポリシー「お天道様に恥じない活動を行う」ため、やりたいことのある人が、やりたいことを持ち寄って、みんなで地域に貢献します。

**【主な活動(頻度)】**
・非定期ミーティングもしくは飲み会（隔月ぐらい）
・アーバンデータチャレンジ（年３回ぐらい）その他各種イベント月１回
・課外活動として手芸部や天文部もある

**【代表的なプロダクト等】**
・税金はどこへ行った？岐阜県全域

**【得意分野・スキル等】**
イベント運営、ハッカソン、ロボット、編み物、林業

**【団体詳細】**

2013年度の岐阜県オープンデータ事業で作成した成果物の受け皿として設立。ソフトピアジャパンというIT産業集積地を中心にオープンデータ系やシビックテック系のイベントを開催。メンバー構成は元エンジニア、デザイナー、コンサルタントと幅広い。産民官の連携で「テクノロジーを使って身の回りの困りごとを自分たちの手で解決する」ことを目指しています。

ソフトピアジャパン(大垣市)

2013年11月　任意団体として設立
2014年2月　International Open Data Day 参加
2014年5月　輪之内マッピングパーティ開催
（ハッカソン、まち歩き、オープンデータ関連のイベントを多数開催）
2017年2月　アーバンデータチャレンジ 地域拠点新人賞 受賞

2014年から毎年International Open Data Dayに合わせてイベントを開催
その他、月1-2回のペースでITに関するテーマに沿った「小さなIT相談室」や
3ヶ月に1回ぐらいオープン参加の「開放的飲み会」を実施しています。

# Code for Nagoya

URL: http://code4.nagoya/
Facebook: https://www.facebook.com/code4nagoya

**【団体の概要】**
活動地域：名古屋市周辺
設立年月：2013年12月
団体代表：月替わり制。名誉代表（＝代表経験者）は19名（河合太郎，河口信夫，宮内元，桂川将典，白松俊，瀬川貴之，青島英和，渡辺賢，遠山竜也，伊藤永，年岡晃一，玉置真悟，來田歩，服部洋明，玉井裕也，石神勝博，桂川織江，藤原慎，向直人）。
メンバー数：120名

**【活動方針】**
ミッションステートメントは「テクノロジーで街を楽しく！」
代表は月替わりで、そのとき動ける人が動く。基本ゆるく活動しています。

**【主な活動(頻度)】**
・ハッカソン 15回（約3回／年）
2013: Spending Data Party
2014: IODD名古屋城ハッカソン, Race for Resilience名古屋，地下街バリアフリーハッカソン
2015: IODDバスデータハッカソン，介護ハッカソン，LODチャレンジデー，若手サミット
2016: IODDデータ見える化ハッカソン，UDC関連ハッカソン×3
2017: RESAS APIハッカソン，教材ハッカソン，学生オープンデータハッカソン

・アイデアソンやワークショップ 4回（約1回／年）
研究シーズを身近な社会課題解決に活かす仕組みを考える，etc.

・カンファレンス 7回（1〜2回／年）
FOSS4G Tokai，ジオメディアサミット名古屋，Civic Tech Forum@東海，etc.

・マッピングパーティー 1回
地下街バリアフリーマッピングパーティー

**【代表的なプロダクト等】**
・土地スカウター（フリーザー味 こと宮内さん）
・秘境駅ランキング（青島さん）

**【得意分野・スキル等】**
Geo関連の人たちが多いです。LOD関連の人たちや、言語処理できる人たちもいます。
企業の開発者だけでなく、大学関係者や自治体職員、議会議員も多いです。愛知県外の人もしょっちゅう来ます！

# Code for MIKAWA

URL: http://uzura.org/

**【団体の概要】**
活動地域：豊橋市を中心とした三河地方全域
設立年月：2014年2月
団体代表：木村 博司
メンバー数：15名(2017年10月現在)

**【活動方針】**
地域をより「豊」かにするための架け「橋」となるべく、ITテクノロジーを活用し「地域とともに学び、ともに創造する」をテーマにITエンジニアのみならず、市民とも交流の場づくりを目的にシビックテック活動を行う。

**【主な活動(頻度)】**
2014年1月、東三河のITエンジニアを中心に技術交流勉強会を開催、2015年からOPENDATAをテーマに据えてシビックテック活動を開始。また、メンバーが取り組む活動の状況などについて報告・相談・意見交換する運営委員会を月次で開催。

・定例会(毎月１回)
・プロジェクト毎に不定期（UDC2017に愛知ブロックとして参加）

**【代表的なプロダクト等（コミュニティメンバーが協力した事業含む）】**
・豊橋API（まちの情報集約API）
・temirin.jp（駅前サイネージ・路面電車バスロケシステム・カタログサイト）
・odottemirin.jp（市民総踊り、参加団体位置表示システム）

**【得意分野・スキル等】**
行動(＝CODE)力、ハッカソン、プロダクト開発、コミュニティ活動

**【団体詳細】**
豊橋市近郊のITエンジニアを中心とした技術勉強会を地元名産であるうずらに因み「うずらインキュベータ」と銘打ち、地元エンジニアの交流を図り、互いに好奇心と向上心を刺激し合う仲間づくりと、知見を増やすことを目標に設立。
2016年よりCode for JapanにブリゲードにCode for MIKAWAとして登録し、まちの人に利用される土着型ICTサービスを目指し現在も活動を行っている。

以下シビックテックに資するイベントを掲載

・2015年7月22日、9月12日、11月21日（全３回）
うずらインキュベータ#6～8
・TOYOHASHI OPEN DATA HACK 2015

・2016年3月31日
豊橋API ベータ版の公開

・2016年12月18日
「とよはしまち想いミーティング #1」への協力
http://uzura.org/archives/date/2016/12

・2016年9月19日、11月28日、2017年2月7日（全３回）
エディタソン
ブラトヨハシ・ブラタハラ開催
http://uzura.org/archives/821
http://uzura.org/archives/907
http://uzura.org/archives/1001

・2016年/2017年
「とよはし３大学街づくりハッカソン」への協力
http://uzura.org/archives/1199

活動報告（2017年以降）は以下HPを参照のこと（写真などは、HPのものをご自由にお使いください。）
http://uzura.org

# Code for Shiga / Biwako

URL:https://www.code4shiga.org/
FaceBook: https://www.facebook.com/codeforshiga/

**【団体の概要】**
活動地域：大津市を中心とした滋賀県全域
設立年月：2014年3月
団体代表：藤澤栄一
メンバー数：数名

**【活動方針】**
＜ミッション＞
地域の課題を地域のクリエイターの力で解決する

＜ポジション＞
・地域内において常にオープンな立ち位置に有り、各種団体、個人とも連携していく
・自治体や企業から直接影響を受けることがない公益的立場で活動する
・改題解決の手段に情報技術を積極的に活用する

**【主な活動(頻度)】**
・アーバンデータチャレンジ
・International Opendata Day
・その他不定期開催

**【代表的なプロダクト等】**
・びわ湖大花火大会2014アプリ（http://www.code4shiga.org/hanabi2014_app/）
・びわ湖大花火大会2015アプリ（http://www.code4shiga.org/hanabi2015_app/）
・大津祭曳山ストーリーテラー
・まちづくり大津オープンデータ（http://www.machidukuri-otsu.jp/lod/）

**【得意分野・スキル等】**
滋賀県内自治体、商工会議所やまちづくり会社と密接に連携し、オープンデータ活用をテーマに、イベントの開催などを行う

**【団体詳細】**
2014年 3月、「オープンデータしが勉強会」として活動開始。
2014年、2015年と大津市商工会議所と連携し、びわ湖大花火大会オープンデータ実証事業に取り組む。
2015年から3年連続で大津市とアーバンデーターチャレンジに取り組む。2015年のアーバンデーターチャレンジでは、ハッカソンに参加したメンバーが「大津祭曳山ストーリーテラー」でアプリ部門銀賞を受賞。

# Code for Amagasaki

URL: https://c4ama.wordpress.com/
FaceBook: https://www.facebook.com/codeforamagasaki/

**【団体の概要】**
活動地域：兵庫県尼崎市
設立年月：2016年3月
団体代表：多田真遵
メンバー数：25名(2017年10月現在)

**【活動方針】**
「おもろいやん！ を創造する」
テクノロジーを使って、まちの課題に取り組んでいきます。

**【主な活動(頻度)】**
・定例会(毎月第１木曜日)
・「みんなのサマーセミナー」でプログラミングやマッピングの授業（毎夏）
・International Open Data DayやScratchDayの参加

**【代表的なプロダクト等】**
・車いすルーティングマップ
・尼崎版5374.jp
・アルディーノを使ったトイレの音声案内（イベント「ミーツ・ザ・福祉」で使用）

**【得意分野・スキル等】**
マッピング、プログラミング教室、デザイン、地域連携

**【団体詳細】**
2016年3月に設立。メンバーはプログラマー・デザイナー・パソコンの先生・介護関係者・行政職員などさまざまです。
「IT×まち」（選挙、中高生の居場所、福祉など）のアイデア出しワークショップやマッピング講習、車いすルーティングマップの作成など、やりたいことを自由にやっています。

# Code for Kobe

Facebook: https://facebook.com/codeforkobe
Twitter: https://twitter.com/codeforkobe

**【団体の概要】**
活動地域：神戸市周辺
設立年月：2014年12月
団体代表：西谷友彬
メンバー数：211名(2017年10月27日現在)

**【活動方針】**
ITで神戸をもっと素敵にするコミュニティ
※行動規範（Code of Conduct）はCode for Japanに準拠

**【主な活動(頻度)】**
・定例会（毎月1回）
・その他イベント毎に不定期

**【代表的なプロダクト等】**
・「AED Map Kobe」（神戸市内のAED設置場所を閲覧・検索するiOSアプリ）
・「チャレンジ！！オープンガナバンス2016」ミニプレゼン＋ポスター展示
・「Code for Japan Summit 2017」開催地（共催）

**【得意分野・スキル等】**
オープンガバナンス、オープンデータ、合理的配慮、コーポレートフェロー支援等

**【団体詳細】**

2014年12月10日キックオフ。以降、毎月第3木曜日19時～21時に開催する定例会を中心に活動。定例会には毎回約30名前後が参加、どんなにLTが多くても乾杯に始まりネットワーキングに終わる（つまり酒を呑む）スタイルを貫いている。

行政職員の参加率が2割強と高く、スピンオフ的に行政職員を中心としたグループ「行政ズ」（通称）も存在し神戸市周辺の行政間交流を行なっている他、NPO法人、エンジニア、デザイナー、大学教授、アクティブシニア、生協職員など多様なメンバーが参加している。

# CODE for IKOMA

URL: http://code4ikoma.org/
Facebook: https://www.facebook.com/code4ikoma/

**【団体の概要】**
活動地域：生駒市を中心とした奈良県全域
設立年月：2014年1月
団体代表：佐藤拓也
メンバー数：運営委員会メンバー11名、参加メンバー123名(2017年11月1日現在)

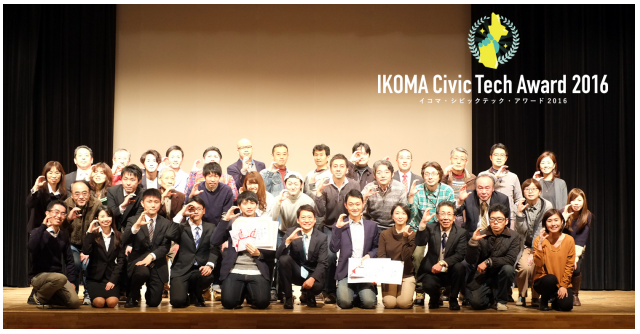
**【活動方針】**
地域課題の解決や魅力発信にITを活用し、地域をよりよくしていくことを目的とする。地域の様々な団体とも連携しながら、市民の生の声を取り入れていく。

**【主な活動(頻度)】**
・定例ミーティング(毎月１回)
・アーバンデータチャレンジ 奈良ブロック（奈良県内持ち回り）
・生駒市によるシビックテック系イベント開催の運営協力
・その他プロジェクト毎に不定期

**【代表的なプロダクト等】**
・5374.jp 奈良県生駒市版 (http://ikoma.5374.jp)
・4919 for Ikoma (https://4919.github.io/)
・いこま保育園マップ (http://papamama.code4ikoma.org/)

**【得意分野・スキル等】**
アイデアソン、ハッカソン、プロダクト開発、コミュニティ運営

**【団体詳細】**




2014年1月に、1名で5374.jp奈良県生駒市版をリリースするのを機に設立。その後Facebookページの立ち上げやイベント開催をしていく中で、参加メンバーが集まり現在の体制となる。
自主的に開催するアイデアソンやハッカソン以外にも、生駒市との協働で2014年度に「iko mama papaアプリ開発提案プロジェクト」、2016年度に「IKOMA Civic Tech Award 2016」を開催。地域の生の声を聞きながら、”生駒らしい”解決方法や、成果物のアウトプットの創出を目指している。

2014年1月　任意団体として設立
2014年5月　生駒市市民活動団体として登録
2014年10月～2015年3月　iko mama papaアプリ開発提案プロジェクト実施
2016年9月～2017年3月　IKOMA Civic Tech Award 2016実施
2017年3月　Civic Tech Forum 2017 勝手にCIVICTECH大賞「Partyで地域を盛り上げたで賞」受賞

# CODE for YAMATOKORIYAMA

URL: https://www.facebook.com/code4YTK/

**【団体の概要】**
活動地域：奈良県大和郡山市
設立年月：2017年5月
団体代表：本多 健一
メンバー数：4名(2017年11月現在)

**【活動方針】**
様々なテクノロジーを試しながら、地域の課題解決や魅力の再発見を目指しています。

**【主な活動(頻度)】**
・非定期ミーティング（３ヶ月に一度程度）
・アーバンデータチャレンジ奈良ブロック参画（初参加）
・地域団体イベントへの人的、技術的サポート

**【代表的なプロダクト等】**
・金魚の気持ちVR体験コンテンツ（金魚電話ボックスの新たな見方）

**【得意分野・スキル等】**
アイデアソン、空き家の掃除、プログラミング教室（予定）

**【団体詳細】**
2017年度のアーバンデータチャレンジ奈良ブロックへの参画を機に設立。2013年より地域内の空き家の利活用を推進するNPO法人くらす*のメンバーとして活動する中で、空き家を使ったアイデアソン等を通じた新たな人材の流入も目論む。メンバーは、ITエンジニアが中心で、これから幅を広げていきたい。地域団体や行政との連携により、「テクノロジーを使って地域課題を自らの手で解決し、地域でやりたいことを実現するサポートをする」ことを目指しています。

2017年5月　金魚の気持ちVR体験イベントを機に、任意団体として設立。
2017年7月　アーバンデータチャレンジ奈良ブロックキックオフミートアップ開催
2017年10月　地域課題の解決アイデアソンを開催
それ以降、アイデアの具現化およびアーバンデータチャレンジへの応募に向け、もくもく会を数回実施しています。

今年度は、地域内で盛り上がりを見せる空き家利活用に対する支援を中心に活動しています。今後は、プログラミング教室やマッピングパーティなどを実施していきたい。

# Code for Tokushima

URL: http://codefortokushima.org/
FaceBook: https://www.facebook.com/codefortokushima/

**【団体の概要】**
活動地域：徳島市を中心とした徳島県全域
設立年月：2014年12月
団体代表：坂東　勇気
メンバー数：31名(2017年10月現在)

**【活動方針】**
1.徳島で、市民参加型のコミュニティ運営を通じて
2.地域について語り、アイディアを出し合い
3.テクノロジーを活用して公共サービスの開発や運営などを行い
4.徳島の地域特性に根差した課題を解決する

**【主な活動(頻度)】**
・定例会(毎月１回)
・ハッカソン・アイデアソン（年3回）
・阿波おどり連レーダ(年１回)

**【代表的なプロダクト等】**
・阿波おどり連レーダ
(http://codefortokushima.org/sub-contents/awaodori/radar/index.html)
・徳島保育園マップ(http://codefortokushima.org/service/papamama/)

**【得意分野・スキル等】**
ハッカソン、オープンデータ

**【団体詳細】**
2014年12月にメンバー6名で設立
2016年1月 第５回『ＩＣＴ(愛して)とくしま大賞』とくしまＯＳＳ普及協議会賞

# Code for DOGO

URL:
FaceBook: https://www.facebook.com/cfdogo/

**【団体の概要】**
活動地域：道後平野を中心に愛媛県圏域
設立年月：2015年2月
団体代表：中川祐治
メンバー数：主要メンバー６名＋学生（数名～数十名、毎年変動）

**【活動方針】**
愛媛県の道後平野（松山市、伊予市、東温市、砥部町、松前町）を中心に、ICTにより生活を豊かにする働きに貢献する。

**【主な活動(頻度)】**
・講演会、セミナー開催（年数回）
・マッピングパーティ（年一回程度）

**【代表的なプロダクト等】**
・観光レシピ：愛媛県内のマニアックな観光案内
・ATM-CAN：松山市内の銀行系ATMの稼働状況をリアルタイムに表示

**【得意分野・スキル等】**
データサイエンスの視点に立って問題解決を行う。

**【団体詳細】**
愛媛大学と松山大学の大学連携事業の一環として2015年度に発足し、２年に渡って大学からの援助を受けました。今後は自立した活動を行うために社会人の参加を期待しています。現在は愛媛大学と松山大学の教員・学生を主体とした活動を行なっていますが、毎年メンバーが入れ替わるので、安定した活動を行うために努力しています。

# Code for Kitakyushu

URL: http://www.code4kitakyushu.org/
FaceBook: https://www.facebook.com/CfKTQ/

**【団体の概要】**
活動地域：北九州市（近隣市区町村を含む）
設立年月：2014年10月
団体代表：広瀬　正信
メンバー数：４０名（2017年10月現在）

**【活動方針】**
ITの力を使って、地域が抱える課題を市民自らが解決し、北九州市（近隣市区町村を含む）を中心に地域活性に取り組むことを目的とする。

**【主な活動(頻度)】**
・定例ミーティング（月１回）
・オープンデータデイ（年１回）

**【代表的なプロダクト等】**
・WHERE DOES MY MONEY GO? (http://kitakyushu.spending.jp/)
・5374.jp (http://kitakyushu.5374.jp/)

**【得意分野・スキル等】**
アイデアソン、ハッカソン、勉強会、コミュニティ運営

**【団体詳細】**
2014年10月23日に任意団体として設立。
2015年5月に地域課題を解決するLOCAL GOOD KITAQにコーディネーターとして登録。
2016年6月に企業、団体等の産学官民金が業種の枠を超えて連携する仕組みである北九州e-PORTパートナーに参加。
各団体と連携し、北九州地域でICT利活用による地域課題解決に　取り組んでいる。

2014年10月　設立
2015年　3月　Code for Japan　ブリゲード　公認団体に登録
2015年　5月　LOCAL GOOD KITAQにコーディネーター登録
2016年　6月　北九州e-PORTパートナーに登録

# お　わ　り　に

日本に初めてのCode forコミュニティであるCode for Kanazawaが誕生して四年半が過ぎました。この四年半でたくさんのシビックテック団体が誕生し、今では各地の団体が全国で活発に活動しています。そのおかげもあって、四年前よりはシビックテックは知られるようになりました。

そうしたなか、全国の団体がどういった活動をしているのかを冊子としてまとめることは、さらなるシビックテックの活動の認知と各地域の横連携の強化になるのでないかと思っています。

諸事情で今回ご紹介できなかった団体もあります。また、私たちが知らない団体もあると思います。こうしたものは一度作ると終わりになることも多いですが、シビックテックコミュニティである私たちは今回のデータを更新し続けようと思っています。

この冊子が、日本のシビックテックの発展につながり、全国のシビックテック団体の方々の助けになれば幸いです。

最後になりますが、今回の冊子作成にあたり、シビックテックを重要だと位置づけて市の事業として行っていただいた金沢市の皆さま、忙しい中、編集やとりまとめに奔走してくれたCode for Kanazawaのメンバー、そして面倒がらずにデータを提供くださった全国のシビックテック団体の皆さまに感謝申し上げます。

平成29年11月

一般社団法人コード・フォー・カナザワ（Code for Kanazawa）

発　行　金沢市都市政策局情報政策課
〒920-8577　金沢市広坂1－1－1　TEL 076-220-2014　FAX 076-220-2777
メールアドレス：ict@city.kanazawa.lg.jp

協　力　一般社団法人コード・フォー・カナザワ